

令和2年度第4回大磯町社会教育委員会議 議事録

1. 日時 令和2年10月12日(月)
午後2時15分～4時00分
2. 場所 大磯町役場本庁舎4階第2委員会室
3. 出席者 池田伊三郎 議長
尾白 佳隆 副議長
上野 広子 委員
荻原まさみ 委員
宮代とよ子 委員
織戸 明 委員
鈴木 敦子 委員
添田 栄 委員
有永 美和 委員

以上9名

事務局 教育部長 大槻 直行
生涯学習課長 波多野昭雄
副課長 北水 慶一
副主幹兼係長 佐宗 幸子

4. 傍聴者 2名

(開 会)

- ・議長・副議長の選出
- ・会議成立の確認
- ・会議公開の確認
- ・傍聴者の有無確認
- ・資料の確認

5. 議事

【議題1 大磯町生涯学習推進計画(素案)について】

事務局から「大磯町生涯学習推進計画(素案)」について、次の資料1から資料4を基に説明を行った。

- ・資料1 大磯町生涯学習推進計画(素案)
- ・資料2 大磯町第三次生涯学習推進計画(素案)に関する委員意見と対応について
- ・資料3 大磯町第三次生涯学習推進計画の策定に向けた意見について(照会)

・資料4 大磯町第三次生涯学習推進計画（素案）【概要版】

事務局) 生涯学習推進計画（素案）について、主に資料2「大磯町第三次生涯学習推進計画（素案）に関する委員意見と対応について」を基に変更、修正点を説明する。資料2は、社会教育委員会議のほか、各課や理事者等から頂いた意見と、意見を基に行った修正等を1枚にまとめたもの。上段には、前回会議で委員の方々から頂いた意見の5項目について記載している。中段には、資料3により、9月に各課等へ計画策定に向けた意見照会を行い、回答いただいた意見の13項目を記載している。下段には、町長、副町長、各部の部長等で行われている定例ミーティングの際に、資料4の推進計画（素案）【概要版】を用いて説明を行い、出された意見の1項目について記載した。

表の左側は、意見や指摘事項が記載されており、右側は意見等に対して事務局で修正等の対応を行った内容を記載している。上から順番に説明していく。

事務局) まず、上段の社会教育委員会議でいただいた意見の5項目とその対応について説明する。

【項目1から項目5について説明】

議 長) ここまでで、何か質問等あるか。

※委員からの質問等なし。

事務局) 次に、各課へ行った意見照会について、回答いただいた意見とその対応についての13項目について説明する。

【項目1から項目15について説明】

続いて、資料2の一番下、定例ミーティングでの意見、1項目について説明する。

【項目1について説明】

以上になる。

議 長) まず、各課等の意見を基に修正等した内容について、会議で協議したいところがあれば、事務局からお願いしたい。

事務局) 項目1から4までは、問題ない。

項目5、大磯町教育大綱について、資料1の4頁、計画の位置づけのイメージ図のとおり、大磯町第五次総合計画の下位の位置づけになる。生涯学習推進計画はさらにその下位の位置づけになる。教育大綱についての説明文が、14頁の「3.町の動向」8行目以下に記述されているが、イメージ図から離れているためわかりにくい。イメージ図の近くに説明を入れた方が良

いかご意見いただきたい。

委員) 教育大綱とは、教育委員会が策定する教育の方向性を示すものだと思うが、その大綱の中に生涯学習推進計画のことに触れているのか。

事務局) 生涯学習について触れているが、生涯学習推進計画の内容については触れていない。

委員) 4頁の図は、生涯学習推進計画の位置づけや、他の計画との関係がわかれば良い。現状のままで良いと思う。

議長) 他にご意見等ないか。
意見等ないようなので、現状のままで良いのではないか。

事務局) 現状のままにする。

事務局) 項目6、大磯町の歴史の記述の部分を削除し、社会的背景のボリュームを少し増やしたらどうかと意見について、ご意見をいただきたい。

委員) 資料1の10頁「2.生涯学習の動向について」、1.国の動向や2.県の動向については、生涯学習推進計画の策定に係る施策的な説明に終始している。事務局としては、計画をつくることになった背景や計画のベースになる町の特徴や現状を触れておきたいのだと思う。大磯町の概要の部分に、社会教育団体や生涯学習活動など、大磯町の生涯学習の現状、町の特色なども入れ、国と県の動向と分けた方が分かり易いと思う。

委員) 歴史の記述について空白の部分、マナビイの上や表紙裏が空いているので、そこに入れたらどうか。形式的になるが、教育長や町長の言葉として、教育大綱や現在の状況なども盛り込んで記述したらどうか。また、マナビイを表紙裏に移動させ、1頁目の前に教育長や町長のあいさつなどの前書きを入れて、参照でどこかに歴史を入れてもいいのではないか。

委員) 町の概要、歴史、生涯学習の動向という流れに違和感があるが、大磯町として特色のある歴史は、どこかに残した方が良い。また、教育委員会として、教育長の言葉も入れた方が良い。教育委員会として、どのように生涯学習を推し進めて行きたいのかという部分が見られないので、どこかに入れた方が良いと思う。

議長) 歴史についての記述は残した方が良いとの意見がでていますが、他に何かあるか。

委員) 策定の背景、歴史・文化もいいが、地形的要因が入ってない。地形的要因や歴史というような言葉にすると雰囲気が変わってくるのではないか。

事務局) 歴史を残す方向で進めて行くが、いただいた意見を参考に歴史、社会的背景の流れなどの構成を整理する。

事務局) 項目7、8番、文化・芸術の記述について、施設整備など他の章などに関わってくるためあまり変えていないが、何かご意見はあるか。

委員) 国や県の文化・芸術に対する動向はどのような内容なのか。

事務局) 県については、大きな劇場を造ったりして、文化・芸術の振興に力を入れている。歴史博物館や地球博物館を造るなど、大きな施策を行っているので、14頁の県の動向の部分に加筆したらどうかと考えている。

市など、大きな文化会館等を持ち、文化・芸術の振興に力を入れているところは、生涯学習推進計画に文化・芸術を盛り込んでいる。しかし、大磯町にはあてはまらないと考えている。

委員) 文化・芸術の国や県の動向が、どのように大磯町と関連してくるか関心があるところになると思う。

委員) 例えば現在、明治記念大磯邸園を整備しているが、大磯町だけでなく国や県も関わっている。大磯には大きな文化施設がないので、無理に国や県の施策に合わせる必要はない。国や県と関わっているようなところを載せていけば良いと思う。

委員) 30頁の③教養・文化・芸術の活動の推進の2から3行目に、豊かな文化資源や自然、芸術への理解関心を促進します、という記載がある。大磯町独自の芸術ではなく、芸術を振興していこうという姿勢があれば良いと思う。

議長) いろいろな意見が出たが、意見を反映できるか。

事務局) 前向きに検討する。

議長) 各課から出た文化・芸術について、国や県の動向の部分に入れ込み、各委員から出された意見、国や県と町とが関連して行っているような事業について記載を検討するという事によろしいか。

委員) 今は文化・芸術に関する施設はないが、記述を入れておくことで、いつか

建設を提案するきっかけになるのではないか。

委員) 小さくてもいいので施設の建設を提案する機会として、また、将来的に造る提案の機会とするなら、入れてもいいのではないか。

委員) 今の意見についても入れ込んで欲しい。

事務局) 検討する。

事務局) 9番、第二次計画の指標、意識調査に基づく第二次計画の評価、第三次計画につながる内容の記述について、21頁から22頁と、58頁から59頁に同じ内容が記載されていたため、資料編にまとめた。

委員) 意識調査の結果が21頁に記載されており、質問の考察が22頁から23頁に記載されている。さらに細かいクロス表が39頁以降の資料編に記載され、考察編と資料編に分けたことで見やすくなって良かった。

委員) 項目10について、土台づくりとつながりづくり、各課の意見としてはまとめて一本化したらどうかという事だが、事務局は残したいとの考え方。何か意見はあるか。

事務局) 土台づくりとつながりづくりでは、施策の方向がそれぞれ異なるため、あえて一本化せず残した。

委員) 資料1の3頁に記述のある、総合計画の施策の体系の図、柱Ⅳの4項目について、この言葉と土台づくりを関連させていくとどうなるのか。

土台づくりはベースとなる人材育成や施設の整備、利便性の向上、利活用など、つながりづくりは人材の継承を考えているのか。

事務局) 人材育成や施設の整備などの土台づくりを行って、人づくり、つながりづくり、まちづくりを行うというような意味合い。施設の利活用も含めて土台づくりという言葉にした。

委員) 子ども会の問題や左義長のお仮屋など、子ども達に関わる大磯町独自の文化財や伝承文化の後継者が少なくなっている。それらの後継者づくりとか、継承していくという問題を考えて、つながりづくりもと言っているのか。

事務局) 文化財の継承については、28頁の「3 まちづくり」の(2)地域の特色を継承する学びに含まれる。

委員) 土台づくり人材の活用と育成は、どのようなことをイメージしているのか。

事務局) 人材の活用・育成については、人材のマッチングを考えている。例えば、ボランティア活動をしたいが、何処でどのような活動をしているのか教えて欲しいなどの問い合わせがある。活動している場所や人と、活動したい人をマッチングさせて、人材の活用・育成をしていきたいと考えている。

委員) 意味は分かった。とても重要な事だと思う。

委員) 28頁の「2 施策の体制」この図を初めて見る人は、この図は何なのかわかりにくい。初めて見た人でもわかり易いようなものにしないと意味がない。

委員) 何をどう活用するのか、伝わるような言葉にしないと伝わらない。わかり易い表現に変えたらどうか。

事務局) 検討する。

事務局) 項目 11、町づくりについて、SDGs (エス・ディー・ジーズ) やLGBT (エル・ジー・ビー・ティー) の記載について、ご意見をいただきたい。

委員) SDGs やLGBT など言葉が難しい。一般の人はわかるのか。

委員) SDGs は一般的な言葉になってきているが、LGBT については、中学校等の指導要領等には載っていない。このことばについて、町の取り扱いはどうなっているのか。また、町の施策等に載っているのか。

委員) LGBT は多様性。性的多様性の意味で使われるが、ダイバーシティーなど性別や国籍、学歴などの多様性、もっと広い意味での多様性が良いと思う。性的マイノリティーや障がいの方なども含めて、広い意味での言葉の方が良いと思う。

事務局) 記述について検討する。

事務局) 項目 12 の施設の整備については、生涯学習館と利用形態が似ている貸館施設との集約化について検討を進めて行く。

委員) 具体的にはどこになるのか。

事務局) ふれあい会館と生涯学習館になる。施設利用団体や利用方法が類似している

施設について、集約化に向けて検討を進めていくもの。

委員) 使用方法についてどうか。

事務局) 町の公共施設については、一元化されている。

委員) 施設の集約化とは、利用方法などソフト面の集約化なのか、建物自体を集約化していくという事なのか。

事務局) ソフト面とハード面の両面から検討していく。

委員) 「同様な施設の集約化についての検討を進めます」については、前向きな書き方ではない。もっと具体的に記載した方がよいと思う。集約して新たな活動場所や形態を提案していくということなのか。

事務局) 新たな活動場所は考え難いと思う。

事務局) 項目 13 施設の整備と充実について、施設の有効活用と学習機能の充実に修正したが、何かご意見はあるか。

委員) この意見はどのような意図で出されたものか。整備・充実だと、新しい施設をつくっていくと誤解されると困るからなのか、施設自体、施設相互の利便性を良くしていくという事なのか。

事務局) 前者の意見が強いのではないか。数年前に町公共施設についての計画が策定された。たくさんある町の公共施設それぞれに、長寿命化や集約などの方向性が示されている。生涯学習館は、利用形態の似ているふれあい会館との集約となっている。

委員) 事務局で修正されたこの書き方が適切だと思うがいかがか。

事務局) 他にご意見等がないようなので、このままで進める。

事務局) 定例ミーティングでは、子ども会活動について意見をいただき、子育て・教育支援に追記をした。今までは、町子ども育成団体連絡協議会があり、4月の総会など役員や保護者が情報交流する場があったが、町子連が解散したためそのような場がなくなってしまった。保護者や役員が有益に情報交流できるような場を設け、つながりづくりを推進する必要がある。このため追記した。

委員) 意見を反映しているのであれば、良いと思う。

事務局) 反映しているので、このまま進める。

議長) 以上で、事務局で修正した内容について、一通りの協議が終わった。
他にない質問等があるか。

委員) 表記ゆれについて、63頁1行目が「活かしたい」になっているので修正をお願いしたい。

事務局) 修正する。

議長) 他に質問等が無いようなので、議題については以上になる。
その他について、事務局より報告事項をお願いする。

6. その他

【報告事項1 大磯町指定有形文化財指定事項変更並びに旧滄浪閣(旧)ホール棟の大磯町指定有形文化財への指定について(資料5)】

事務局から、資料番号5「大磯町指定有形文化財指定事項変更並びに旧滄浪閣(旧)ホール棟の大磯町指定有形文化財への指定について」報告を行った。

委員) 報告事項について、質問等が無いようなので本日の会議は以上になる。
これで閉会する。

以上